

2021 年 7 月 21 日

BMW アート・カーのデジタル展覧会

Acute Art (アキュート・アート) と BMW、史上初の拡張現実 (AR) を使った展覧会「BMW アート・カーズ」を開催

ミュンヘン発：BMW はこのたび、文化的な取り組みの 50 周年を記念して、アキュート・アート (Acute Art) と共同でユニークな展覧会を開催する。BMW アート・カー・コレクションを初めて拡張現実 (AR) を使って展示するというもの。無料アプリ「Acute Art」を通じて 7 月 15 日より開催され、デジタル化された動く彫刻を世界中の誰もがいつでも鑑賞できる。

「BMW アート・カー」は、レーシング・カー・ドライバーでアートに造詣の深いフランス人、エルヴェ・プーランと BMW Motorsport (BMW モータースポーツ社) の創始者であるヨッヘン・ニーアパッシュとが共同で企画したものであり、1975 年にプーラン氏が所有する BMW のレーシング・カーのデザインをアレクサンダー・カルダーに依頼したことをきっかけに誕生した。それ以降、世界中の著名な芸術家 19 人が、それぞれの時代の BMW をデザインした。いずれも極めて異質な芸術表現で、アート、デザイン、テクノロジーの文化的、歴史的な発展を反映したものとなった。今回、「BMW Group Cultural Engagement」(ビー・エム・ダブリュー・グループ・カルチュラル・エンゲージメント) の 50 周年を機に、アート・カーはついにデジタルの世界へ進出し、屋内でも屋外でも、ユーザーが望めばどこでもバーチャル化された 360° 完全没入型の展示を体験できる。

BMW アート・カー作品の第一弾として、7 月 15 日から、アレクサンダー・カルダー (BMW 3.0 CSL、1975 年)、マイケル・ジャガマラ・ネルソン (BMW M3、1989 年)、ケン・ドーン (BMW M3、1989 年)、加山又造 (BMW 535i、1990 年)、エスター・マフラング (BMW 525i、1991 年)、ジェフ・クーンズ (BMW M3 GT2、2010 年)、ジョン・バルデッサリ (BMW M6 GTLM、2016 年) によるアート・カーがアプリ上で公開される。その後は、2 週間ごとにさらなる BMW アート・カーがアプリ「Acute Art」を通じて公開される予定で、スイスのバーゼルで開催される「Art Basel (アート・バーゼル)」の開催に合わせて、すべてのアート・カーがアプリ上に並ぶことになる。

BMW アート・カーを全て鑑賞できるアプリ「Acute Art」は、App Store および Google Play にて無料で提供される。

アプリ Acute Art のインストールと起動:

1. スマートフォンで QR コードを読み取り、App Store または Google Play からアプリ「Acute Art (アキュート・アート)」をダウンロード。
2. アプリ「Acute Art」を起動し、「BMW Art Cars (BMW アート・カーズ)」を選択し、車両を選択してから「Place (配置する)」ボタンをクリック。
3. スマートフォンを床に向け、タップして作品を配置。画面を指でドラッグすると、作品を回転させたり拡大／縮小させたりすることが可能となる。

アプリ「Acute Art」は最先端の技術を使用しており、最新のソフトウェアを搭載したハイエンドの携帯電話で最も効果を発揮する。対応機種は、iPhone X 以上、Samsung Galaxy S8 相当であり、アプリの利用には、Apple iOS 11 または Android 8.0 Oreo (API 24) 以降の OS をインストールし、4GB 以上のメモリを搭載したスマートフォンが必要となる。詳細は、アキュート・アートのウェブサイト (acuteart.com) に記載されている。

BMW グループは、世界的に有名な団体やアーティストとパートナーシップを組み、文化の支援と促進に取り組んでいる。相互の尊重と好奇心を通じて、BMW は（物理的にも仮想的にも）、文化を通じて世界中の人々を結びつけている。これが、BMW がアキュート・アートと提携する理由であり、異次元のメディアを探索することでアートの物理的な限界を押し広げることを目指している。

「BMW アート・カーは、BMW が 50 年間にわたり行ってきた文化活動の DNA に欠かせないものです。ついに、そのアート・カーがデジタルの世界に乗り込み、どこでも、誰でもアクセスできるようになりました。アキュート・アートとのコラボレーションは、革新的で最先端の技術を目指す当グループにとってたいへん喜ばしいことです。アート・カーを自宅の居間に置いて、この素晴らしい作品のハンドルを握るのが待ち遠しい思いです。」BMW AG でカスタマー、ブランド&セールス担当取締役を務めるピーター・ノータは、このように述べた。

アキュート・アートは、世界をリードする現代アーティストとのコラボレーションにより、芸術家たちの創造的なビジョンを仮想現実（VR）、拡張現実（AR）、複合現実（MR）といった新しいデジタル媒体に変換するための最先端技術を提供している。今日の没入型メディアはアートの制作と流通に新たな可能性をもたらし、AR の登場はまったく新しい展示形式を可能にする。

「何十年にもわたり技術革新および芸術に並々ならぬ貢献をしてきた BMW との協同作業に感謝しています。」アキュート・アートの CEO であるジェイコブ・デ・ギア氏は、このように述べ、さらに、「アキュート・アートは、芸術を一般化し、これまで実現できなかった場所にアートを届けるといったビジョンに基づいて設立されました。この困難な時代に、私たちは新しい手段を見つけなければなりません。BMW グループとのコラボレーションは、テクノロジー、デザイン、アートの交流を深めるものです。これらの分野で活躍する最も革新的な人々とともに、未来の風景を探っていきたいと思います。」と続けた。

アキュート・アートと BMW グループとのコラボレーションにより、初めて BMW のアート・カーを世界のどこでもデジタルで鑑賞することができるようになった。このアプリでは、アート・カーを 1 台ずつ表示することも、複数を同時に表示することもできる。そのために、実物のアート・カーを、写真測量法を用いてあらゆる角度から徹底的にスキャンし、車両ボディに施されたアーティストの作品を細部に至るまで記録したものである。最終的にデジタル上で車両を組み立て、AR でアート・カーを正確に再現した。

スイスのバーゼルで開催される「Art Basel（アート・バーゼル）」の期間中、BMW グループは、9 月 21 日にバーゼル美術館で開催されるこのユニークなインタラクティブな展覧会で、文化的な取り組みの 50 周年を

祝う予定だ。ここではアレクサンダー・カルダー作の BMW アート・カーを展示するほか、特別に作成された拡張現実（AR）エリアでは、ゲストがその場でアプリ「Acute Art」によるデジタル・アート・カーを体験できる。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>